

公益財団法人栃木県国際交流協会 (TIA)
 Tochigi International Association
 〒320-0033 宇都宮市本町 9-14 とちぎ国際交流センター内
 TEL 028-621-0777 FAX 028-621-0951
 E-mail tia@tia21.or.jp URL <http://tia21.or.jp>

やあ! クローズアップ
 ブラジル日本移民 110 周年
 & 在伯栃木県人会 60 周年
 わくわく☆多文化
 ハンガリーを知ろう!
 JICA 情報局
 海のおこうの暮らしから「ケニア」



TIA は「やさしい日本語」の普及を促進しています。



▲ゲーム「人間椅子」でアメリカの高校生たちと交流する参加者たち(7月24日実施)

とちぎグローバルセミナー2018

栃木県内で国際理解、国際交流、国際協力等の活動をしている団体が、それぞれ特長を活かした内容でセミナーを開催する「とちぎグローバルセミナー」(主催:TIA、JICA 筑波)は、今年でちょうど10回目となります。今年度は公益財団法人栃木県国際交流協会(TIA)設立30周年でもあり、これらを記念して、今回はさまざまなテーマで過去最多の21のセミナーを7月21日(土)~9月15日(土)に実施しています。

8月4日までに実施した8つのセミナーは、高校生の外国留学体験談(実施団体:グローバル・グループ)、ブラジルの伝統料理紹介(交流会「仲間」)、北インドの農村女性たちへの支援報告(アーシャ=アジアの農民と歩む会)、アメリカの高校生とのゲーム交流(とちぎYMCA)、スリランカ・カレー紹介(アジア学院)、世界の海の豊かさを考えるワークショップ(JICA 筑波)、内閣府青年海外派遣事業の紹介(栃木県青年国際交流機構)、台湾料理紹介(World Cooking C.)。子どもから大人まで多くの県民が参加し、楽しみながら外国文化や世界の現状などを学びました。

とちぎグローバルセミナーは9月15日まで実施しています。まだ間に合うセミナーもございますのでぜひご参加ください!詳しくは、TIA ホームページ <http://tia21.or.jp/> からどうぞ。

※次号(12月号)で8月18日以降に実施したセミナーをご報告します。

30th Anniversary 

TIA はおかげさまで30周年



ブラジルは現在、世界最大の日系人がいる国です。

1908年に日本人が初めて、ブラジルへ契約移民として「笠戸丸」という船で渡りました。それから約25万人の日本人が移民し、移民初期は主にコーヒー農園などの農業に従事しました。今年は移民開始から110年の節目になります。

また、サンパウロを拠点として、本県出身者の交流の場として設立された「在伯栃木県人会」が60周年を迎えるにあたり、栃木県からは、福田知事（栃木県国際交流協会会長）を始め、県関係者らがブラジルを訪問しました。



▲在伯栃木県人会記念式典で祝辞を述べる福田知事

7月19日（木）にブラジル・サンパウロ市内にある栃木県人会館では「在伯栃木県人会創立60周年記念式典」が開催され、県人会の坂本アウグスト進会長や現地の会員140名とともに、福田知事らも出席しました。

TIA で写真展の開催（7月3日～8月8日）

TIAはJICA筑波と共催で、両周年記念に合わせ、とちぎ国際交流センター1階の企画展示室で、日本人のブラジル移住や日系社会の様子、県人会の活動などのパネル展を開催しました。



▲パネル展示のほか、テレビモニターで現地の様子も紹介



<パネル展の一部を紹介します>

◀「栃木県人会館」。壁には県のマークと日本語名が漢字で書かれています

県人会主催「やきそば会」の準備の様子。楽しそうに野菜を切る県人会の皆さん



TIA トピックス TIA TOPICS

第4回栃木県フェア

「とちぎ de 国際理解 クイズに答えて地球儀クラフトをGETしよう！」

6月16日（土） イオンモール小山店

県民の日（6月15日）に合わせて行われたイベントに今年も参加し、TIAは国際理解につながるクイズを行うブースを開設しました。

「栃木県に暮らす外国人の数は？」、「外国人観光客の県内一番の観光スポットはどこ？」などの質問について3択で答えてもらい、いろいろな形の地球儀ができる工作シートをプレゼントしました。TIAスタッフは、クイズに参加された方々と交流しながら、身近な話題を通して、栃木県の国際化についてお話ししました。



▲TIA スタッフ(奥)とクイズの答えを考える参加者

TIA 県民外国語講座 とちぎ国際交流センター

はじめての英会話

5月10日（木）～7月12日（木）

日本国内や世界のニュースをもとに英語を学びながら、外国人講師と英会話を楽しみました。今回はイギリス、アメリカ、フィリピンなどのネイティブ講師が交代でレッスンを務め、講座開講期間中はワールドカップと重なっていたので、各国のチームや試合結果について会話が弾み、にぎやかな講座になりました。

とちぎ おもてなし英会話

5月11日（金）～7月13日（金）

おもてなしを中心に英会話を楽しみながら、とちぎの歴史や文化などについても学習しました。講師は、全国通訳案内士でTIAのトランスレータ協力者の平野聖乃氏が務めました。



▲優しくアドバイスを講師の平野氏(中央)



TIA ランチャタイム・コンサート

お昼の時間帯(12:15~13:00)に、国内外のさまざまなジャンルの音楽を聞いたり、とちぎ国際交流センターを知っていたく目的で1階の交流ラウンジで開催しています♪

「津軽三味線〜邦楽の調べ〜」

6月14日(木)

出演者:

小川貢清世氏ほか

演奏曲: 津軽じょんがら節、津軽民謡メドレー等



「ピアノ演奏とクラリネット・アンサンブル」

7月12日(木)

出演者: 糸川玲衣香氏ほか(ピアノ)、アルポーレクラリネットアンサンブル(クラリネット)

演奏曲: プレリュード1番(ピアノソロ)、東京ブギウギ(クラリネットアンサンブル&ピアノ)等



コンサート後、来場者の皆さんに、「やさしい日本語」の紹介もさせていただきました!

コミュニティ通訳研修会

7月7日(土) とちぎ国際交流センター



▲通訳者の役割を丁寧に話す講師の内藤氏

外国人住民が日常生活のあらゆる場面(行政窓口、病院、学校等)でコミュニケーションが円滑になるよう支援する「コミュニティ通訳」について学ぶ研修会を実施し、TIA トランスレータバンク登録者など8カ国語(英語、中国語、韓国語、スペイン語、タイ語、フランス語、ベンガル語、ロシア語)の25名が参加しました。

講師は昨年に引き続き、東京外国語大学大学院総合国際学研究院講師の内藤 稔氏。「コミュニティ通訳が果たすべき役割と守るべき倫理」と題し、相談通訳から見えてくる外国人住民の現状や通訳者の守秘義務等についてご講演いただきました。その後は、グループで通訳活動の事例について話し合いました。

後半の通訳スキル演習では、聞いた内容を自分でまとめて話すリプロダクション演習、通訳時のノートの取り方のほか、市役所窓口でのやりとりを想定した通訳実習も行いました。



▲通訳スキルの演習を行う参加者

外国人住民が日常生活のあらゆる場面(行政窓口、病院、学校等)でコミュニケーションが円滑になるよう支援する「コミュニティ通訳」について学ぶ研修会を実施し、TIA トランスレータバンク登録者など8カ国語(英語、中国語、韓国語、スペイン語、タイ語、フランス語、ベンガル語、ロシア語)の25名が参加しました。

日本語ボランティア情報交換会

「日本語の練習を超えた学習活動をしてみよう！」

7月13日(金) とちぎ国際交流センター

外国人住民に日本語を教える活動を行っているボランティアを対象に、日本語の教え方や教室活動などについて学ぶ



▲学習者との対話例を実演する講師の萬浪氏(左)

情報交換会を行い、県内各地から25名が参加しました。今回は、ちば多文化協働プロジェクト日本語教育コーディネーターの萬浪^{まんなみ}絵理氏を講師に迎え、日本語教室が日本語を話す「練習」を行うばかりでなく、「実践」の場になるような様々な取り組み事例のほか、外国人学習者とのコミュニケーションスキルについて学びました。

前半は、日本語学習者にとっても身近な「健康」、「防災」、「介護」などのテーマについて学び、ポスターの作成や発表

を行う活動やミニドラマ作りの実践例の動画を視聴しながら詳しく紹介していただきました。後半は、事例を実践する上での課題を話し合ったり、学習者の発話を促すコミュニケーションを学びました。



▲自己紹介とともに相手の話にあいづちをうつ練習をする参加者



2020年の東京オリンピックで、栃木県はハンガリーの陸上競技選手のキャンプ地として決定されています。ハンガリーってどんなところなんですか？

AFS*のプログラムでハンガリーに一年間留学し、今年7月に帰国したばかりの後藤秋運さん(栃木県立足利高等学校2年)にハンガリーでの体験について話してもらいました！



▲ブダペストの町をバックに後藤さん(左)と友人

首都のブダペストは公共交通機関が発達していて、路線バスや地下鉄のほか、「トラム」という路面電車がります。路線図を見れば外国人でも気軽に移動が可能です。

■学校生活

現地の高校に毎日通学していましたが、朝食をとらずに

■街並み

まず、ハンガリーに到着して第一印象は、街並みの美しさです。歴史を感じる建造物が並び本当に素晴らしく、休日はよく写真を撮りに行きました。

登校する生徒が多く、10時の休み時間におやつを食べる習慣があります。私はとてもお腹がもちませんので、食べてから登校していました。

授業は、日本と同じようにクラスごとに行われ、選択科目の時は分かれます。午後の1~2時には下校し、清掃や部活はありません。学校では気軽に話しかけてくれる人もいて、気さくで話しやすいです。

■ホストファミリー

お父さん、お母さん、19歳のお兄さんと17歳の弟のいる家にホームステイしました。一般的にハンガリー人は、休日は家族と過ごし、クリスマスもツリーを飾って家で祝います。



▲ある日の夕食。ジャガイモにパプリカソースをかけたもの

▲通学していた学校の校舎



パプリカを使う料理が多く、中でも両親が作ってくれた「グヤーシュ(肉と野菜のスープ)」は美味しかったです。

*AFS: 高校生の交換留学等を行う国際ボランティア団体

JICA 情報局

海のむこうの暮らしから
〜ケニア(PCインストラクター) 隊員より〜
鈴木由美さん(那須塩原市出身)

【こんな活動をしています！】



私はケニアのナイロビ市にある女子高校でコンピュータを教えています。在校生の多くがテレビやラジオ、スマートフォンもない寮生活を送っています。生徒たちがPC実習室に入るとはインターネットを覗こうとするなど、毎日がちょっとしたバトルの連続です。また、学校には日本語クラブがあり、「とちぎ春夏秋冬」の写真で日本に対する理解を深めたり、日本語の簡単なあいさつや折り紙を練習しています。市内にある日本大使館では、10年以上前から宇都宮市出身の方が60人近いケニア人に空手を教えており、日本の文化が思った以上に受け入れられています。

【栃木県の皆さんへ】
使わなくなった算盤や縦笛、ピアノ、お習字セットなど、世界中の多くの子供たちのためにぜひ寄付してください！



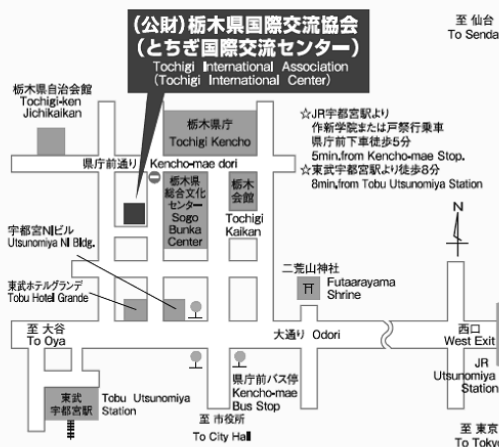
TIA で社会体験研修を受け入れました

作新学院高等学校トップ英進部教諭の和久井瞳氏が、教員研修として7月から8月にかけての5日間、TIAで就業体験として、国際理解のイベントの準備や運営などを行いました。



▲外国料理教室の写真を撮る和久井氏(右端)

TIAご案内図



JICA 栃木デスクからのお知らせ

JICA ボランティア秋募集情報

募集期間：10月1日(月)～11月1日(木)

ご質問、お問合せはお気軽に！

JICA 栃木デスク 028-621-0777

編集・発行 公益財団法人栃木県国際交流協会
住 所 〒320-0033 宇都宮市本町9-14 とちぎ国際交流センター内
T E L 028-621-0777 (代表) 028-627-3399 (相談専用)
F A X 028-621-0951
業 務 時 間 8:30～17:15
休 館 日 日曜・月曜・祝祭日及び12月29日から1月3日